

【2年生 地歴公民】臨時休業期間中の学習課題について（4/20～4/26）

《倫理》

□教科書『新倫理』（清水書院）（～P37）をよく読み、4ステージ（P15）の①古代ギリシア思想を記入⇒採点⇒訂正しておくこと。最初の倫理の授業で提出。

《現社》

□教科書『最新現代社会 新訂版』（実教出版）p.36～45を精読する。理解できない箇所があれば、教科書に下線を引く。その上で、4ステージ演習ノート『2 青年期と自己の形成』StageA・①青年としてのあり方生き方（p.19）、StageB・19～24（p.21～23）に取り組む。回答記入⇒採点⇒訂正までしておくこと。新学期最初の授業で回収・点検します。

《地理A》

□「NHK高校講座 地理」を視聴し、番組内の学習メモや理解度チェック等を活用し、学習する。

- ① 番組は、パソコン、スマホ、テレビ等で視聴可能です。
- ② 「NHK高校講座 地理」で検索し、番組HPから視聴してください。
- ③ 視聴前に教科書で予習をし、さらに学習メモを活用すると一層理解が深まります。
- ④ 以下の2タイトルを視聴し、教科書等を参考に内容を学習すること。

1. 地図で地球を見てみよう（教科書P8・9）
2. 地図を使って調べてみよう（教科書P198～P205）

【4/24（金）14:40～15:00 Eテレで放送予定】

《日本史A》

〔4/20～26 その1〕第1章 近代日本の形成 1 国際情勢の変化と明治維新（1）

①教科書を読む

教科書p.30～35を読んでください。

②Eテレ『高校講座日本史』を視聴する

第26回「第4章 近代国家の形成と国民文化の発展 開国と開港」を視聴してください。

URLは以下の通りです。

<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/nihonshi/archive/chapter026.html>

③Eテレ『高校講座日本史』の「理解度チェック」を活用する

「学習メモ」を読み（ここで再度、教科書該当ページを読むとより効果的）、理解度チェックに取り組んでください。

④「メモリーツリー」を作成する

教科書・資料集や『高校講座日本史』を参考に、各自用意したノート等にメモリーツリーを作成してください。

「メモリーツリー」については、次のURL（右のQRコード）を参考にとわかりやすいです。また、検索サイトで「メモリーツリー」を検索すると、参考になるサイトがたくさんできます。



「メモリーツリー」 <http://www.daiichi-g.co.jp/chireki/sekaishi/memory.html>

※最初はなかなか難しいかもしれませんが、まずは教科書の單元ごとに作成してみることをおすすめします。今回の範囲を例にすれば、教科書 p.30「アジア世界の変動」「開国前夜の日本」「ペリー来航と条約調印」の3枚のメモリーツリーを作成するわけです。取り組んでみましょう。

〔4/20～26 その2〕第1章 近代日本の形成 1 国際情勢の変化と明治維新（2）

①教科書を読む

教科書 p.38～41 を読んでください。

②Eテレ『高校講座日本史』を視聴する

第26回「第4章 近代国家の形成と国民文化の発展 幕府の滅亡」を視聴してください。

URLは以下の通りです。

<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/nihonshi/archive/chapter027.html>

③Eテレ『高校講座日本史』の「理解度チェック」を活用する

「学習メモ」を読み（ここで再度、教科書該当ページを読むとより効果的）、理解度チェックに取り組んでください。

④「メモリーツリー」を作成する

教科書・資料集や『高校講座日本史』を参考に、各自用意したノート等にメモリーツリーを作成してください。

「メモリーツリー」 <http://www.daiichi-g.co.jp/chireki/sekaishi/memory.html>

※その1同様に、教科書の小單元ごとに作成してみましょう。教科書 p.38～「幕末政争の展開」「大政奉還と王政復古」の2枚になりますね。ちなみに、日本史のなかでもとびきり面白いところのひとつなんです。

◎今までメモリーツリーを作成したことがなければ、慣れるまでメチャクチャ苦勞するかもしれませんが、歴史の理解を深めるのにぴったりの学び方のひとつです。

※授業開始時または出校日等に「メモリーツリーノート」を回収し、確認・評価する予定で検討中です。

《日本史B》

①E テレの高校講座日本史のHPを使い、第1回「原始社会の生活と文化」を視聴し、学習メモと理解度チェックを使って、学習する。さらに教科書のP8～15を学習する。

②24日（金）14：00～高校講座の第2回「弥生文化と小国家の形成」を視聴し、HPの学習メモと理解度チェックを使って学習する。さらに教科書のP15～22を学習する。

☞学校再開後、授業で確認テストを行う。

《世界史B》

[4/20～26 その1]

①『新世界史要点ノート』を活用して学習する

教科書・資料集を参考に、p.156～p.161に取り組んでください。

②「メモリーツリー」を作成する

教科書・資料集や①で取り組んだ『新世界史要点ノート』を参考に、各自用意したノート等にメモリーツリーを作成してください。

「メモリーツリー」については、次のURL（右のQRコード）を参考にするとわかりやすいです。また、検索サイトで「メモリーツリー」を検索すると、参考になるサイトがたくさんでできます。



「メモリーツリー」 <http://www.daiichi-g.co.jp/chireki/sekaishi/memory.html>

※最初はなかなか難しいかもしれませんが、まずは教科書の小单元ごとに作成してみることをおすすめします。今回の範囲を例にすれば、教科書p.263～「クリミア戦争と列強体制の緩和」「ロシアの改革」「ヴィクトリア期のイギリス」「フランス第二帝政と第三共和政」「イタリアの統一」の5枚のメモリーツリーを作成するわけです。取り組んでみましょう。

[4/20～26 その2]

①『新世界史要点ノート』を活用して学習する

教科書・資料集を参考に、p.162～p.163に取り組んでください。

②「メモリーツリー」を作成する

教科書・資料集や①で取り組んだ『新世界史要点ノート』を参考に、メモリーツリーを作成してください。

※その1同様に、教科書の小單元ごとに作成してみましょう。教科書 p.267～「ドイツの統一」「ドイツ帝国の成立とビスマルク外交」「北ヨーロッパ諸国の動向」「国際的諸運動の進展」の4枚になりますね。なお、チャレンジできる人は、「ドイツの統一」「ドイツ帝国の成立とビスマルク外交」を1つの「メモリーツリー」にまとめてみましょう。

③概要版「メモリーツリー」を作成する

その1・その2で作成した「メモリーツリー」を参考に、教科書 p.263 中單元「2 ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生」として、それらのメモリーツリーをリンクさせた概要版「メモリーツリー」を作成しましょう。なお、概要版は、当時のヨーロッパの関係性が見えればいいので、ものすごくザックリしたものでかまいません。

※授業開始時または出校日等に『新世界史要点ノート』と「メモリーツリーノート」を回収し、確認・評価する予定で検討中です。

《地理B》（前回からの継続）

□『新地理の研究』（啓隆社）（～P19）までを、教科書、『最新地理図表 GEO』（第一学習社）を参考に仕上げてください。

また、余裕のある人は、『最新地理図表 GEO』の付属の『地理ワークシート』の P15～にチャレンジしてみてください。

提出、確認は授業が始まってから、担当から指示します。